



ペアトーク、グループトークの活用



ペアトーク



話し合いの最小単位である2人で、自分の意見を言う、友だちの意見を聞く、自分の意見を深めるなど、学年の実態に合わせてねらいをもち、話し合う。

2年 「ひみつのばしょ」

～自然となかよく～

グループトーク

〇〇について、自分の考えを
発表してください。

ぼくは、少し違って〇〇だ
と思います。理由は、・・・

ぼくは、〇〇さんと
同じ考えだったけ
ど、〇〇君の考えを
聞いて・・・

わたしは、〇〇だと思
います。理由は、わた
しも、前に・・・



4年 「雨のバス停留所で」 ～マナーを大切に～

本校の「話し合いのステップアップ」を参考に、各学年にあった話し合いをしている。ペアトークやグループトークで意見交換をすることで、全体発表での自信につなげることができる。また、友だちの考えを聞き合うことで、いろいろな見方や感じ方、考え方があることを知り、認め合いながら、ねらいとする道徳的価値へ近づくことができるような手段のひとつとしている。



構造的な板書の工夫



意見の違いをとらえる

ネームプレートを使用し、
自分の立場を明確にする。



5年「ふくらんだりリュックサック」

～みんなが気持ちよくなるために～

大きな場面絵を使う



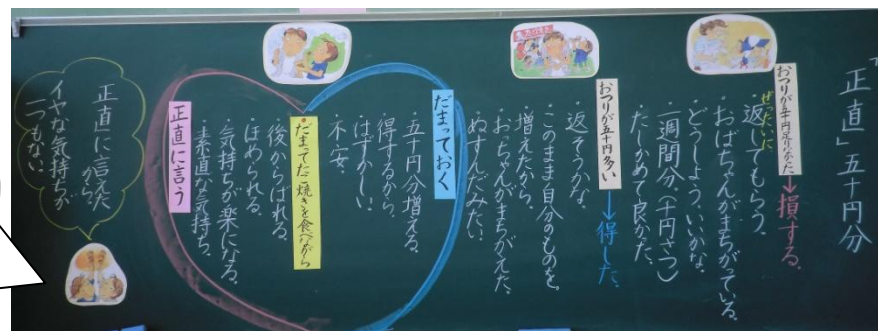
中心場面で大きな場面絵を活用する
ために、取り上げたい場面を黒板
の外に掲示した。その後、場面
絵を背景に役割演技につなげた。

2年 「ぐみの木と小鳥」

～だれに対しても温かい心で～

心の葛藤を表わす

「心のものさし」
を黒板に大きく
描いて、心の揺れ
をじっくりと考
えさせる。



4年 「『正直』五十円分」

～正直に生きる～

ペープサートを動かす



中心場面で、内容に合わせてペープサートの動物たちを動かし、心情を考えやすくする。

1年 「およげないりすさん」 ～いっしょに遊ぼう～

気持ちの高まりをあらわす

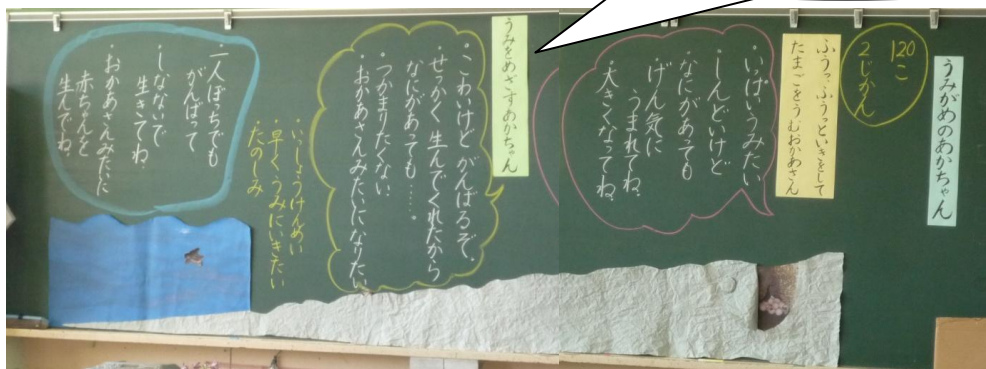


主人公の気持ちの変化を追ってその変化が分かるように、カードを場面絵の位置や構成を工夫して掲示する。

4年 「貝がら」 ～通じ合う心～

黒板を大きな舞台に見立てる

黒板全体を砂浜、海に見立てて資料の世界のイメージを広げる。



1年 「うみがめの赤ちゃん」 ～いのちを大切に～

その時間に学習したことが、一目でわかる板書になるように心がけ、子どもと一緒に板書をつくりあげるといった気持ちを大切にしている。